

<はじめに> 地球温暖化について考えよう

地球の現在と未来

今、日本や世界で、台風や集中豪雨など、様々な自然災害が起きています。このような自然災害が引き起こされる原因の一つとして、**地球温暖化**があります。

【パリ協定】

- ・2015年フランス・パリで開催された気候変動に関する国際会議で合意された取り決め。
- ・長期目標として、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保ち、1.5°Cに抑える努力をすること」、「21世紀後半には、温室効果ガス排出量と、森林などによる吸収量のバランスをとること」が記された。

自然災害のほかにも、地球温暖化によって、暑さで農作物が育たなくなる、水産物がとれなくなるなどの現象が現れはじめています。

地球温暖化が進行すると、自然災害の発生する頻度や規模が大きくなるとも予測されています。私たちの将来や、次の世代が生きるころ地球は**大丈夫**なのでしょうか。

■台風や集中豪雨の様子*



脱炭素社会を目指して

【実質排出量ゼロ】

- ・二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、植物が光合成で吸収した量を差し引いて、排出量と吸収量が釣り合った状態。

地球温暖化問題の解決に向け、2015（平成27）年パリで、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより低く保ち、1.5°Cに抑える努力をすることを世界共通の長期目標とするパリ協定が決まりました。

また、気温上昇が1.5°Cを大きく超えないようにするために、2050年頃には、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO_2)の排出量を**実質ゼロ**（排出量と吸収量が等しい）となる必要があることが分かってきました。このような**脱炭素社会**を目指すためには、人々の暮らし方も大きく変える必要があります。

* | 福岡県防災教育副読本風水害編小学校高学年用（福岡県）
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bousai-hukudokuhon.html>

地球温暖化対策とSDGs

それでは、地球温暖化対策のためには、がまんしたくらしをしなければならないのでしょうか。地球温暖化を防ぐために不健康になってしまっては、取り組みが長続きしません。私たちのくらしを豊かにしながら、地球温暖化対策を進めていくことが重要です。

そこでヒントになるのが、^{エスディージーズ}SDGsです。SDGsは、環境、経済、社会を含め、持続可能な社会を実現するための国際的な目標です。地球温暖化を解決するためには、環境のことだけでなく、経済や社会のことも考えて、みんなが安心して生きていける持続可能な社会を実現することが大切です。

【SDGs】

- ・2015年に国連で採択された、2030年までに達成する17の目標（ゴール）。
- ・キーワードは、「だれ一人取り残さない」。

知識と行動で持続可能な社会を

持続可能な社会を実現するためには、知識を増やすだけでなく、まわりの人と話し合い、協力し、行動していく必要があります。

そこで、地球温暖化をはじめとする環境問題について、「なぜ今そうになっているのか」「自分に今どういうことができるのか」といったことを考え、気づき、一人ひとりが環境に対する行動を見つめなおすききっかけとなるよう、この福岡県地球温暖化対策ワークブックがつくられました。

未来を担うみなさんが、地球温暖化について理解し、解決に向けて行動していくために、ぜひこのワークブックを活用してください。

■ SDGsの17のゴール^{*2}



*2 SDGsのロゴ・アイコンおよびガイドライン（国際連合広報センター）

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/